

三平則夫・佐藤百合編

インドネシアの工業化

フルセツト主義工業化の行方

アジア経済研究所

アジア工業化シリーズ

15

アジア工業化シリーズ 15

インドネシアの工業化

フルセット主義工業化の行方

三平則夫・佐藤百合編

アジア経済研究所

編者紹介
三平則夫

- 一九四二年 朝鮮新義州に生まれる。
一九六八年 慶応義塾大学大学院経済学研究所修了。アジア経済研究所入所。
一九七二―七三年 在インドネシア日本大使館経済調査員。
一九七六―七八年 インドネシア科学院経済社会研究所に海外派遣員として赴任。
一九八二―八五年 国際協力事業団派遣専門家としてインドネシア工業省官房データ処理解析センターにて工業統計システム作成に従事。
一九八八―九〇年 インドネシア科学院経済・開発研究センターに海外調査員として赴任。
(共編著)
『発展途上国の自動車産業』、アジア経済研究所、一九八〇年。
『インドネシアの経済開発政策の展開』、アジア経済研究所、一九八九年。
『インドネシア―輸出主導型成長への展望』、アジア経済研究所、一九九〇年、ほか。
佐藤百合
一九五八年 東京に生まれる。
一九八一年 上智大学外国語学部卒業。アジア経済研究所入所。
一九八五―八七年 インドネシア大学に海外派遣員として赴任。
一九八九年 インドネシア大学院経済学研究所修了。

アジア工業化シリーズ15

インドネシアの工業化——フルセット主義工業化の行方

1992年4月20日発行©

改訂増補版

定価 2266円 (本体2200円)

編者 三平則夫・佐藤百合

発行所 アジア経済研究所

東京都新宿区市谷本村町42

電話 03 (3353) 4231(代表)

発売所 アジア経済出版会

東京都新宿区市谷本村町42

電話 03 (3353) 1640(直通)

郵便番号162振替東京5-143692

印刷・製本 コロニー印刷 ISBN4-258-18015-7

落丁・乱丁本はお取替えいたします。

アジア工業化

定価2266円(本体2200円)

ISBN4-258-18015-7 C3032

目次

はしがき

第I章 総論

三平則夫……1

- 1 インドネシア工業化に影響を与えた諸要因……3
- 2 インドネシア工業化の特徴……8
- 3 インドネシア工業の生産技術と市場……13
- 4 フルセット主義工業化の行方と望まれる施策……18

第II章 工業化の展開過程

23

- 第1節 経済の成長と構造変化 ……
1 概観……24
西達男／三平則夫……24

第三章 工業化の担い手

2	GDPの成長と構造変化……………	30
3	工業部門の構造変化……………	36
第2節 輸出構造の変化…………… 萬井正俊／佐藤百合…43		
1	石油・ガス輸出から工業製品輸出へ……………	43
2	工業製品輸出の構成にみる工業化の特質……………	55
3	工業製品輸出の展望……………	59
第3節 工業化政策の展開…………… 三平則夫…62		
1	スハルト体制の経済政策の枠組み……………	62
2	工業化政策の展開……………	64
第1節 担い手の構図…………… 佐藤百合…92		
第2節 国営企業…………… 松井和久…103		
1	工業部門の国営企業……………	103
2	工業化における国営企業の役割……………	109
3	民営化問題と国営企業改革……………	113

4	経営効率化への模索……………	118	
第3節	民間企業グループ……………		佐藤百合……………124
1	躍進するインドネシアの企業グループ……………	124	
2	工業化を担う代表的企業グループ……………	139	
第4節	小企業——特に農村工業に注目して……………		水野広祐……………157
1	就業構造と農業構造よりみた小・家内企業の特質……………	157	
2	小企業と産業構造、業種別検討と発展政策……………	163	
3	輸出向け工業における下請制度——藤製品製造業の事例……………	173	
	むすび……………	180	
第5節	外国資本……………		石川幸一……………184
1	外国投資の展開……………	185	
2	外国投資の現状……………	191	
3	工業部門における外国投資の比重……………	203	
4	主要投資国からみたASEANにおけるインドネシアの位置づけ……………	209	
5	工業化に果たした外国資本の役割……………	213	

第IV章 工業化の環境的枠組み

第1節	産業金融	……………	佐藤百合	218
1	金融システムを通じた開発資金の流れ	……………		
2	工業化に果たした産業金融の役割	……………		217
3	企業にとつての資金調達	……………		236
第2節	労働市場と労使関係	……………	水野広祐	244
1	インドネシアの就業構造と労働力構成	……………		245
2	インドネシアの労働組合	……………		254
3	インドネシアの労使関係と労働行政	……………		258
4	急成長輸出産業の労働条件——運動靴産業の農村出身女子労働	……………		265
第3節	産業インフラストラクチュア	……………	佐々木英之・小島昭久	279
1	都市経済集積	……………		281
2	都市インフラの整備状況	……………		282
3	地域間運輸インフラの整備状況	……………		288
4	展望	……………		292

第V章 主要産業の分析

第1節	アグロインダストリー	米倉 等	296
1	アグロインダストリーの概況		296
2	製糖業		301
3	グルタミン酸工業		304
4	原料確保問題		310
5	農民と工業		314
第2節	繊維産業	平井東幸	317
1	繊維産業の現状		318
2	繊維産業の歴史		327
3	今後の展望		331
第3節	自動車産業	佐藤百合	336
1	インドネシア自動車産業の発展過程と政策		336
2	インドネシア自動車産業における産業組織の構図		346

3 インドネシア自動車産業の新展開と展望……………356

第4節 石油化学産業……………石田暎恵……………362

1 石油・天然ガスの精製・加工……………363

2 石油化学産業の始動……………364

3 インドネシア石油化学産業の現状と今後の計画……………366

4 石油化学産業の推進者……………377

5 今後の展望……………379

第5節 戦略産業……………三平則夫……………384

1 戦略産業育成政策……………385

2 戦略産業管理庁管轄下国営企業の概要……………390

付録 主要経済統計……………409

田中記事

「市場メカニズム派」と「国産化積極推進派」……………72

キャッサバ経済……………311

執筆者紹介●（執筆順）

- 三^み平^{ひら}則^{のり} ● アジア経済研究所経済協力調査室
西^{にし}達^{たつ}男^お ● 経済企画庁（在ジャカルタ国際協力事業団専門家）
萬^{まん}井^い正^{まさ}俊^と ● 通商産業省調査統計部統計解析課
佐^さ藤^{とう}百^{ひゃく}合^ご ● アジア経済研究所経済協力調査室
松^{まつ}和^わ久^{ひさ} ● アジア経済研究所在ジャカルタ海外派遣員
水^{みづ}野^の井^い祐^{すけ} ● アジア経済研究所地域研究部
石^{いし}川^{かわ}幸^{さち}一^{いち} ● 日本貿易振興会経済情報部
米^{よね}倉^{くら}幸^{さち}等^{びと} ● アジア経済研究所（在マラン国際協力事業団専門家）
佐^さ々^さ木^き英^{ひで} ● 株式会社パシフィックコンサルタンツインターナショナル第一事業本部開発都市事業部
小^こ島^{じま}昭^{あき}久^{ひさ} ● 株式会社パシフィックコンサルタンツインターナショナル第一事業本部開発都市事業部
平^{ひら}井^い昭^{あき}幸^{さち} ● 岩手県立宮古短期大学教授
石^{いし}田^だ暁^{あき} ● アジア経済研究所経済協力調査室

（一九九一年三月現在）

アジア工業化シリーズについて

アジアは世界経済の成長点としてひろく注目されていますが、その発展の推進役として工業化が大きな役割を果たしてきました。しかし、その実態は必ずしも鮮明でなく、いったい誰がどのように工業化を進めてきたのか、アジアNIEsは日本に追いつけるのか、ASEAN諸国はNIEs化できるのか、経済開放政策をとる中国やインドの工業は加速化した成長テンポを持続できるのか、等々といった問題に迫っていく必要があるように思われます。

そこで、アジア経済研究所経済協力調査室では、昭和六十一年度から五年間にわたって、比較的大がかりな「アジア工業化展望総合研究」プロジェクトに取り組んでいます。当プロジェクトはアジア各国の目まぐるしく展開する工業化の実態を現地事情に即して精確かつ包括的に研究し、こうした問題の解明に役立つよう努力していきます。問題の大きさからして経済学にとどまらず、学際的方法をとります。

当研究がカバーする国（地域）は、韓国、台湾、香港、シンガポール、中国、フィリピン、マレーシア、タイ、インドネシア、インドの十カ国です。

毎年三つの研究会を組織し、うち一つはこれらの国々に共通する課題について研究し、他の二つはそれぞれ一国の工業について総合的な研究をし、その成果を読みやすいかたちで取り纏め、「アジア工業化シリーズ」（全十五冊）として公開しております。

各位のご愛読が頂ければ幸甚です。

平成四年 春

アジア経済研究所長

宗像善俊